



京都の民主運動史
史跡散歩

③1

京大「花谷会館」

絵 奥西正史



迎
春

2019

年頭のご挨拶 — 一枚の写真から —	井口 和起 2
京大「花谷会館」の由来	井上 吉郎 2
〈11 月例会報告〉労働の尊厳を求めて — 高齢者の仕事起こしと生きがい	水口 武夫 4
はじめの一步にすべてが見える	井上 吉郎 6
〈この一枚〉三井三池の「合理化」反対闘争	湯浅 俊彦 7
企業の社会的責任とは、職場で「労働の尊厳」が輝くこと	
30 年間の関電争議団の一翼をになって 服部真吾さんに聴く	佐藤 和夫 8
いまこそ聞け、わだつみの声を 安保法制違憲訴訟・陳述書より	小畑 哲雄 13

会員消息
情報スクラップ
編集後記

15

京大の正門を入って右に、木造2階建ての「花谷会館」はある。京大生協の本部として長年使われてきたこの建物は、いまでは耐震を理由に使われなくなっており、人の出入りはないまま放置されている。この建物は京大、あるいは京都にある被爆の記憶を呼び起こす「記念碑」であり、広島原爆の被害を教えてくれるモニュメントである。

1945年9月17日、この地を枕崎台風が襲い、同夜10時30分頃、山

津波は一瞬にして大野陸軍病院の中央部を壊滅させ、山陽本線を超えて海中に押し流した。大野陸軍病院に本拠を置いて調査にあたっていた調査班員11

生・花谷暉一^{てるいち}だった。この調査は「原爆災害総合研究調査班」と言い、京都帝国大学が中国軍管区司令部の要請を受けて組織、医学部と理学部の教官や

京大「花谷会館」の由来

登録文化財にあたいる戦争遺跡だ

花谷暉一の死を悼んで、遺族が大学に寄贈したお金をもとに花谷会館が建てられた。現地には「京都大学原爆災害総合研究調査班遭難記念の碑の由来」と書かれた碑がある。原爆の残酷、調査班と花谷暉一の無念を花谷会館は伝える。

(文)井上吉郎

人を含む人が台風の被害にあった。死者・行方不明者2000人を超える被害だった。

被害者の一人が京大理学部の大学院

学生などが、広島に派遣され、9月3日からこの大野陸軍病院に本拠を置き診察・研究にあたった。

年頭のご挨拶

——一枚の写真から——



井口 和起

本会代表

昨年の本誌第239号で私は「王希奇展——1946——」の紹介をさせていただきました。

中国・遼寧省葫蘆島からの日本人引揚の群像を中国の著名な画家・王希奇氏が描いた大作の舞鶴引揚記念館での展覧会である。「氏が一枚の写真に目を惹かれたところから」高さ3メートル・横20メートルのこの大作の制作が始まったと紹介した。

一枚の写真というのは、敗戦直後の1946年

7月に葫蘆島に渡った飯山達雄氏が撮影したもの一つで、上平隆『昭和史の記録 水子の譜——引揚孤児と犯された女たちの記録——』（現代史出版

会1979年発行・徳間書店発売）のカバー表紙に掲載された「母の遺骨を手にした坊主刈りの少女の写真」で、「この写真をみてみると、少女の悲しみやつらさが胸に迫ってきて、息苦しくなる。引揚者の悲劇を端的に物語っていて見る者に強い印象を与えずにはおかない。」（同右169頁）と

紹介されているものである。

飯山氏が後に出版された『小さな引揚者』（草土文化・1985年刊）には、この少女は奉天（現・瀋陽）の「孤児収容所」にいた山本美津子さんであったこと、骨箱には遺骨ではなく「おかあさんの遺髪が入っていたと、ずっとあとになって聞かされた」ことや、収容所の物置に「放心したようにすわっていた」同じ少女の写真も収録されている（同右50—53頁）。また、この本の表カバーの

（特定非営利法人・福祉広場代表のWEBマガジン福祉広場「毒吐録」2018・11・10より、本誌に特別寄稿をいただきました）

大きな荷物を背負ってというより小さな身体に幾重にも括り付けて、やや右上に顔を向けてジッと見つめるつぶらな目の少女の写真があるのだが、この姿も王氏の絵に描かれている。ただし、怒りを込めて突き刺すような目に描かれていて観る者をたじろがせる。

王氏夫妻が2012年4月に舞鶴引揚記念館に取材に訪れたとき、私は案内役を務めたのだが、その時にはすでに数多くのこれらの写真資料を集められており、彼の作品の構想はできており、2月に創作を開始した直後だった。舞鶴では引揚体験者の一人と出合い話を聞き取っていた。同時に、彼には舞鶴の海を見ることが重要だったのだと私には思えたのだが、描き方の工夫の最中にあったのかもしれない。

彼はこう語る。幾たびも「構想しては覆し、再構築」し、この絵の鑑賞方式には「移動式」を採用した。その結果、「中国壁画の長幅式の表現様式」としたため最終的には20メートルの横幅になった。高さは3メートル。これは見る人が絵の外からではなく「列の中に入って共に移動してほしい」からだ。「画面の色彩・見る側のリズム・光の配置」にも考慮して「特別な手法」を採用した。「いわゆる科学による光線配置の手法をとらず」、「ホテル式の光による手法を採った」。「個々の人物自身放つ光を通して、人々が生き残ろうとして現れてきた生命の強さを表現したいと思った」と。また、文学作品のようにこの絵を「読みこなし」、「感動」を共有してほしいとも。

一枚の写真から始まった彼の作品は、500余

の人々を一人一人書き分け、一人一人の生命の火が燃えるかのような手法で描くことで、観る者も大作の中の一人となって歴史の重みを追体験してくれるようにと訴えかけているのである。

作品をご覧でない読者諸氏にはいささかわかりづらい解説を書いてしまい申し訳ないのだが、文字や言語による伝達とは異なる写真・絵画・音楽など、翻訳の必要のない記録と記憶と訴えが、観聴きする者に直接に理解と共感を呼び起こすことを改めて確認させられた。

また、ここには中国人画家の国や民族の相違を超えた全人類が共有するヒューマニズムと世界平和を希求する精神が込められていた。

本誌が「この一枚」で長年伝える仕事をされてきたことの重要性を改めて確認した昨秋であった。

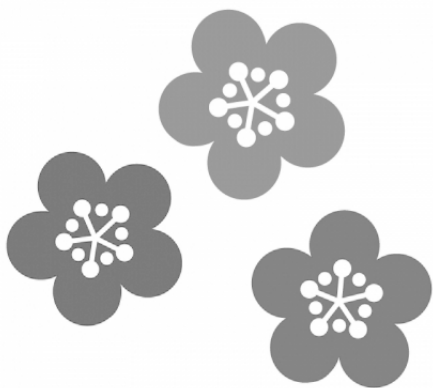
* * * * *

新しい年を迎えたが、いよいよ大変な一年になりそうな気配である。

12月に終わった「王希奇展—1946—」の余韻の中で、「恒久の平和を念願」し、「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去」し、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」等々、日本国憲法前文の精神が国境を越えて世界の人々のものになっていることを再認識し勇気づけられて新年を迎えてはいる。

しかし、日本の現状は、憲法の前文など振り返らない横暴な政治がまかり通っている。そんな世情の中で、昨年末からの「平成三〇年」間の記録

特集のテレビ番組に嫌気がさしている。明治の天皇制国家誕生期の「一世一元の詔」は戦後廃止されたのだが、1979年の「元号法」で復活し、天皇の代替わりごとに新元号が制定され、元号で時代を区切らせる歴史感覚が押しつけられる。どうにも受け入れがたい。今年はまたまた新元号が私たちとは関係なく極秘裏に決められ、言い渡され、それを常用することが強制される。この呪縛から私たちはいつ、どう抜け出せるのか。油井大三郎氏が『未完の占領改革』（新しい世界史(11)、東大出版会、1989年刊）で戦後改革は「精神革命が未完の政治革命」だったと概括してから30年が経っているのだが、「未完」から「完成」に向かうどころか、「逆行」「反動」の方が表立っては力づいてきているように見える。しかし、深部で進む精神革命に期待し、この力が表に力強く現れてくれることを願いながら新年を迎えた次第である。



労働の尊厳を求めて

高齢者の仕事起こしと生きがい

京都高齢者生活協同組合「くらしコープ」

水口 武夫

「元気な高齢者がもつと元気に」、「寝たきりにならない、しない」、「一人ぼっちの高齢者をなくそう」、「支えられる存在から、支える存在に」、仕事おこし運動からいきがい運動への取り組みの歴史は——11月例会では京都高齢者生活協同組合「くらしコープ」の水口武夫さんが熱く語った。

はじめに

「運命的な出会いありき」

自己紹介をすると、わたしは1948年6月に石川県で生まれ、1969年4月に立命館2部に入学しました。いわゆる「学園紛争」まっただなかの広小路学舎に学びましたが、中途退学しました。

先輩の紹介で、1970年6月に「社会福祉法人京都ライトハウス」に就職し、以来1999年の50歳の時に退職するまで29年間つとめました。

その間、住谷悦治理事長・田村敬男主事の頃、労農党代議士で右翼テロで刺殺され

た「山宣」の話が出たらもうブレーキは利かないといわれた田村さんに啓発されたものです。結婚の仲人にもなってもらいました。退職後、2級ヘルパーとケアマネジャーの資格を取得し、京都生協の福祉事業部に入りました。介護保険制度がスタートした2000年直後のことでした。

はじめの一步、

つまづきながらの一步一歩

実は、高齢者協同組合運動では、京都は後発組です。2000年9月25日に立命館大学事務局をやめて年金者組合運動をしていた井川定雄さんと京都生協専務理事をや



京都高齢者生活協同組合・くらしコープ『紫式部』196号（2019年1月）より、前列右端が水口さん



水口武夫さん

めたばかりの井上吉郎さんと京都市民医連会長の岡本康さんとが、語り合って高齢者協同組合の運動をはじめることとなりました。呼びかけた岡本さんは、1987年に第1回全国高齢者大会が京都で開催されたときの現地事務局長もされましたが、その年の秋の「高齢者の集い」で、「日本の夜明けは京都から」と誇り高く言う言葉があるが、高齢者協同組合がないのはなぜか」と質問を受け、返事に困ったことを述懐していました。

翌年3月4日に110人の参加で設立準備会を開催し、マルクス経済学の林直道先生の講演を聞きました。同年9月には西新道商店街協同組合の安藤宣夫さんや丹後の福井禎女さんらでパネルディスカッションをやり、90人が参加しました。中央労協からもパネラーとして参加してもらいました。

11月に17単協の参加で「日本高齢者生活協同組合連合会」が発足しました。実は生協と名乗りましたが、生協としての「法人格」をまだ取得していませんでした。その当時は「協同労働の協同組合法」の制定が直近との見通しが

あったためです。法制化要求運動の波はまだ繰り返している段階ですが、2002年4月21日に任意団体・「京都高齢者協同組合くらしコープ」(A)として、設立総会をもち、「協同労働の協同組合法制化をめざす市民会議」会長の東大名誉教授の大内力先生の講演を聞きました。

6月に北区紫野に新事務所を開設しました。8月には「企業組合アクティブエイジング」(B)として、居宅介護支援事業をスタートしました。大崎恵津子さん・秋元秀夫さんと水口らが中心でした。しかし、2年後の訪問介護事業立ち上げに際しては所管の京都府はこの「企業組合」を嫌いました。「株式会社か、有限会社にしなさい」「行政指導」でした。三人は「有限

会社」(B)をえらび、同時に「介護保険の適用」のない「生活支援」の活動(便利屋さん)については、NPO法人(C)を取ることにしました。

AとBとCと便宜上の略称をつけた三つの組織の関係性は、BとCについて京都府が企業組合化に難色を示し、有限会社か株式会社かの選択を求めたためでしたが(注1)、2012年に上京区でデイサービス事業をスタートさせるなかで、2013年4月12日に生協法人化準備会を立ち上げ、11月20日に設立総会を持ちました。高齢協と有限会社とNPO法人の三組織を統合し、2014年2月4日に法人認可をうけ、組合員400人で4月より生協法人として「京都高齢者生活協同組合」となりました。2018年には、1000人の組合員になりました。(但し、NPO法人は生協に馴染まない会社組織などの利用者のために残しています)

スケールメリットも デメリットも人次第

京都府生協連20単協では、下から5番目の番付です。介護(居宅・訪問・通所)＋生活支援事業をしています。介護保険制度で要支援1、2が介護サービスからはずれ、自治体の総合事業に移行了問題があります。介護

サービスからの切り捨てはもちろん反対ですが、さりとて放置するわけにはいきません。100%の自己負担ですが、組合員同士の助け合いボランティアを世話する支援事業も進めたいと思っています。

とはいえ、有資格者やヘルパーさん、ワーカーさんなどのスタッフ確保が深刻です。ハローワーク外の「人材紹介センター」も利用せざるをえません。一人紹介をうけると、3か月分の給料相当が仲介手数料になります。有資格者だと70万円ぐらいになります。紹介を受けた人が中途退職するとダブルパンチです。その他の事業として、共住プロジェクト(京都ソリデール事業)、共同募「平和の風」、各種の相談事業などもしています。

基本は、組合員の要求を事業化するということで、くらしコープ葬、空き家管理、安否確認、サービス付き高齢者住宅(サ高住)・小規模多機能施設・グループホームなども検討しています。

全国的な「ワーカーズコープ」 運動に学びながらボチボチと

今日のレジュメに若干の資料を付けました。2012年4月22日が結成10年目の記念日にあたり、京都高齢者協同組合代表世話人の岡本さんのごあい

さつ文です。発足時に京都アスニーで作家の井上ひさしさんに講演をしていただき、「君たちの組織からのお金はいいですよ。高齢者協同組合発足ほん

とうにおめでとう、頑張ってください」と激励のうえ、ポンと講演料を全額寄付していただいたエピソードを紹介しています。



剪定作業に取り組む水口さん

また、二代目の理事長の荒木昭夫さんは、2016年6月26日の退任のあいさつで、「京都高齢者生活協同組合くらしコープにおける『文化の活動』とはなにか」と問いかけ、「全員参加の協同組合運営に習熟するかなめ」と位置付けられました。運動体の会報『紫式部』です。お手元の資料では、「労協センター事業団資料の年表」（2015年7月刊）を荒木さんが要約しています。

21世紀に入って、他府県では「高齢者生活協同組合運動」が全国的に展開されていますし、その前史として「労協運動（ワーカーズコープ）」がありました。そして、荒木さんは、次のように締めくくりました。

「この『歩み』はわたしたちの組織を編み育てた行動を間違いなく照らし出す大切な資料として、記憶して置ってください。私たちの『協同組合』との格差が、あまりにも開いてしまった理由がこの資料から読み取れるからです。徹底して困難な底辺の立場からの視点で、労協センターの運動方針が組み立てられていました、と強調しました。

質疑・感想など

○2000年当時、「高齢者の集い」で京都には高齢者協同組合運動がないのはなぜかと問われて、困ったと岡本さんがいつていたが、1949年の「緊急失業対策法」施行後、1995年緊急失業対策法（失対法）廃止にいたる過程で、中・高年者の公的就労の斡旋をもとめる全日自労などは、組合員の共同出資による「事業団」化を探索していた。とくに公園清掃など公共事業の入札資格として指定管理者制度への移行に伴い法人化を求められていた。こうした流れと介護保険制度発足による介護サービスの供給者と消費者という（市場）ができ、営利優先の流れに対抗して非営利協同という新しい流れも登場したということか。

○ラテン系の労働運動でスペインのモ

はじめの一步に すべてが見える

井上 吉郎

2002年に、任意団体として、「京都高齢者協同組合・くらしコープ」（以下、くらしコープ）が発足しました。岡本康さん、秋元秀夫さん、水口武夫さん、そして僕の話し合いの中からこれは生まれました。1990年代から、「日本労働者協同組合」の運動に接していた僕は、その影響もあって、話し合いに加わりました。

02年8月には、介護事業専門の企業組合（2年後、有限会社くらしコープに改称）をつくり、04年7月

には仕事おこしと生活支援事業をおこなう、「NPO法人くらしコープ」が設立されました。「くらしコープ」は京都造形芸術大学の「春秋座」で、「過去を振り返り、未来を見晴るかす」と題する加藤周一さんの講演会を600人の参加で開き、京都アスニーでは、「3000万歩の男」と題する井上ひさしさんの講演会を400人参加で開き、船岡公園では、2年にわたってフェスティバルを開きました。「市民にくらしコープのことを知らせたい」「市民にくらしコープのことを知ってほしい」と考えたからです。

「なんでも屋さん」（剪定など）、樹木医運動、府内産の野菜や米などの産直、駐車場の料金集め（僕も参加）など、会員の声と要望に応える活動に取り組みました。

この一枚

三井三池の「合理化」反対闘争（1960年）



京都からも 1000 人が泊まり込み支援

歴史的な安保反対闘争と時を同じくして、戦後の労働運動史にのこる九州の三井三池炭鉱の首切り反対のたたかいがあった。

エネルギーを石炭から石油に切り替え、あわせて戦闘的労組であった炭労をつぶそうとして会社は一二七七人の指名解雇を一方的に通告してきた。三池労組が解雇通知を一括返上すると、会社はロックアウト（炭鉱閉鎖）を強行、これに対して労組は無期限ストに突入、全国に支援を訴えた。

九千人の三池労組支援のため、総評はもちろん共産党や社会党も大量の支援部隊をおくり、京都からものべ一千人がかけつけた。当時、府職労の一員だった私も一週間、現地の炭鉱住宅に泊まり込んで、警察・暴力団に対峙してたたかったことは忘れられない。

（写真は炭住街の朝の集会で主婦の会の人たちとともに。左端が私）（湯浅俊彦）

ンドラゴンなど注目されてきたが、その後リーマンショックなどで危機に直面したとも聞いた。いまの新自由主義経済のもとで、高齢者や引きこもり経験などのある若者、なんらかの身体的精神的問題をかかえながらも働く場をもとめている障害者の発達保障というのが、労働の尊厳を守る未来の展望がみえて、とってもいい。

○岡本康さんは、2002年の京都高齢者協同組合の発足時の代表世話人であり、生協としての法人化後は、競争相手というか棲み分けしている高齢者福祉事業団理事長にもなっていますよね。ある意味では、「協同組合間協同」などを構想していたのでしょいか。今一度、周辺の聞き取り調査したいものです。

注1…2002年当時、NPO法人が規律するのは「ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動」にかかわる団体であり、企業組合は、その法人格がワーカーズに利用されているものの、本来は、元事業者が再び法人企業になるための合理的かつ促進的仕組みであって、労働者を組合員とする協同組合にはなじまないとする厚労省の見解などがあった。Ⅱ「ワーカーズコープ35年の軌跡」（P108）参照。

企業の社会的責任とは、職場で 労働の尊厳が輝くこと

— 30年間の関電争議団の一翼を担って —

京都地裁原告団の服部真吾さんに聞く

昨今、自動車や鉄鋼などのメーカーで、製品データーの改ざんが相次いで発覚した。工場閉鎖・正社員減らし・非正規労働者や請負業者への置き換えなどの何でもありのリストラだ。そこへもってきて、業績悪化企業をV字回復させたというコスト・カッターの最高経営責任者が、リストラ収益をつまみ食いしていたとの横領疑惑の発覚だ。モラルハザードもここに極まった。今こそ、企業内民主主義、すなわち「不正を不正として告発する」社内復元力・現場力の発揮が求められているのではないか。1969年の関西電力ビラ事件裁判からはじまり、1971年提訴の関電人権裁判、1989年京都賃金差別裁判など一連の事件は、1999年12月8日の大阪地裁で関西電力賃金差別事件の一括和解の成立で労働者側の勝利となった。今年は関電争議の勝利から20周年になる。その歴史の教訓を訪ねる。

(文責・さとう)

—— 優しいから強かった
のだ／頼を崩し孫あやし
ている爺ちゃんは「闘士」

(京都府・新庄佑三)

2000年4月1日の「しんぶん

赤旗」の切り抜き記事の短歌選が目
を引いた。選者の奈良達雄さんは、「思
想差別・人権侵害を許さず、子孫に誇
れる勝利かちとった電力労働者の人間
像。口語歌の特徴を生かしている。」
と評した。



妻、孫とともに

そのやさしい爺ちゃんこと、服部真
吾さんは、1939（S14）年7月4
日生まれで、79才になった。関西電力
には、1955（S30）年4月1日に

中卒で就職した。洛陽高校の電気科に
合格していたが、母子家庭でもあり進
学を断念した。養成工として3年教育
を受け、正社員になった。1958
（S33）年、丸物デパートの4階と5
階が営業所だった。朝早く出勤してお
茶くみもやり真面目をとおした。純朴
な青年労働者だった。

「見せしめとしての差別」
に心騒ぐ

1959年ごろには、関電労組本部
執行委員の三分の一が、旧電産系活動
家でしめられるよう
になっていた。60年
安保闘争などに参加
する労働者が、「宿
直室をきれいにし
てほしい」などの職場
要求を取り上げ、労
働条件の改善の先
頭に立ったのだ。当
時20代だった頃、齊
木清先輩に職場のこ
とをいろいろ教わっ
た。この人は、「電産」
の元闘士で、労組の
執行委員にもなった
が、反会社派だった。
服部さんも影響され
て執行委員に当選し



1998年9月4日、大阪での関電本社に向けての昼デモ（前列左より三木谷、浜本（妻）、右端＝須田稔立命館大教授、2列目左端＝服部）

ものの、病気で辞退せざるを得なかったこともあった。

関西電力はこの様な事態に危機感を持ち、「情報組織網の確立」との通達を出した。表向きは、「黒部第四発電所完成、次は原子力だ、関電の明日をつくろう」のキャンペーンを張りつつ、陰では「理屈抜きにしてもマルクス主義は職場秩序を破壊する」から共産党員や支持者の「孤立化排除の特殊対策」を始めた。

全職制を動員して「どこまで本店の方針が現場の主任や班長まで徹底実践されたか」のアンケートで検証し、係長クラスも部下に何人の共産党員がいるか個体把握するようでないかとダメと徹底するものだった。

さらに、活動家の影響を持つ職場では「配転攻撃」をかけ、1964年から66年の間に活動家たちは職場で執行委員選挙に当選できない状況がつくりだされた。

さらに、1965年ごろになると、各職場にインホーム組織として「特殊懇談会」が役職者中心に組織され、活動家を孤立化させ、さらには排除するため、対抗措置と予防措置の実施が徹底された。社員の採用の際に縁故採用されたものには、採用保証人を通じて活動の停止か退職を迫った。

さらに、抵抗する活動家をどうすれば自分から会社を辞めるようになるか

の事例研修会すら組織した。監視、尾行、職場にかかってきた電話の記録。活動家宅で葬式があれば、葬儀の受付手伝いを装って香典帳から交友関係を調べたり、職場サークルに活動家が参加していれば、擬装解散して排除を徹底したりもした。

服部さんの職場では、新人が配置されると養成工一期生の服部さんをお手本にするよう上司が指導していたほどだった。ある時、面倒を見ていた後輩が京阪宇治線の中書島駅に会社の労務担当と一緒に立っていた。服部の顔を知らない労務担当に「面通し」していた様子だった。

服部さんの経験でも京都府会館での共産党の演説会に参加するとかならず尾行がついた。三条京阪から歩いて花見小路、東山三条、仁王門前を過ぎたあたりで真つ暗なところで自動車の陰に隠れ、尾行者をたしかめたら、同じ営業所の庶務課の同僚だったこともあったという。

尾行や張り込みは日常のことだったので、服部さんは左京区天王町の活動家の家に入出入りするときは、かならずマスクをして面が割れないようにした。

当時、山科区の市議員森益子さんから、赤旗の購読をすすめられたが断わったほど神経質になっていた。それほど警戒していたが、全国的な世論を

動かす闘いの中でしか勝利はのぞめないと感じた。

1988年6月には、関西電力京都争議団の職場新聞「人権」No.98号では、服部さんは発行元を引き受けていた。第16回の関電人権裁判の速水原告と同じ職場の村主さんの証言を報じた。

関電争議のはじまりとは、人間らしく自分らしく、労働者として誇りをもつていい仕事をしたい！

1969年の元旦に「働けど働けどわがくらし楽にならざり」と石川啄木の詩を引用して、関電労働者の暮らしぶりを問うビラを、社宅に職場での「村八分」をのりこえ、高馬士郎（こうましろ）さんが撒いた。ビラ撒きを理由に、本店の懲罰委員会によびだされ、けん責処分をうけた。しかも、関西電力は「職場の内外を問わず厳禁」という通達を出し、火力発電所職場では個々人に承認印の押印を迫ることまでした。

また、自主上映映画「橋のない川」を観ようとした労働者が反省文を書かされたりする事件も起こった。

そんな時、弁護士事務所に通の匿名文書が送られてきた。それは、関電の職場で元電産活動家の松本育造さん

を調べた^⑥報告だった。「職場に憲法の風を」という企業ファッショとの闘いが、始まった。

1971年4月30日、松本育造さん、速水二郎さん、水谷治さん、三木谷英男さんらは人権侵害として裁判を起こした。

1973（S48）年6月14日、はじめて上営業所（烏丸北大宮）の門前ビラを神戸支店尼崎営業所から京都支店上営業所に配転されていた三木谷英男さんと一緒に撒いた。ビラも軍手をはめ指紋が付かないようにビラをおり、準備した。神戸・大阪・京都・和歌山など関電争議団は、統一弁護士とともに当事者の労働者と家族と支援者の団結で闘った。服部さんの場合でも、奥さんが統一行動に参加してくれたりした。

小、中の同級生でもあり同志社生協で働いていた小林敏江さんと、30才の時結婚した。同志社生協の彼女の先輩になる城嶋さんがたずねてきて、今出川烏丸の北角の喫茶店で彼女を紹介してくれた。宇治駅前営業所に43年間57、58才まで電気工事請負業者との事務折衝の仕事をやれてきたし、争議団としても闘いつづけられたのも、彼女の支えがあったればこそだ。



争議解決の日、1999年12月8日（争議団の後ろ3列右より3人目）

関電争議の問いかけたもの、引き継がれるべきもの

人権裁判の原告4人の原告の一人・三木谷英男さんが京都支店京都上営業所に配転され

1989年1月31日に、三木谷さんを原告団長に堀江幸男（伏見営業所）、浜本英治（上営業所）、宗像好男（伏見営業所）、田淵富雄（下営業所）らが、関電京都賃金差別事件として提訴した。

1996年8月30日には、西河拓次



電力京都ネット事務所でのインタビューに答える服部真吾さん

「関電京都争議団の9人の仲間は、解決和解金から「団結固め」基金を出し合い事務所を借り上げています。争議資料や旗やゼッケンなどがきちんと整理されています。月に1度の会議を持ち、それぞれの地域活動の交流もしています。年金者組合や生健会や持病とのお付き合いなども話し合っ、お互いを励まし合うだけでなく、電力労働運動近畿センターと連絡を取り合い、「動き出した原発廃炉への道」パンフの学習にも努めています。また、旅行会を催し、交流もつづけています。」と、服部さんは語ってくれました。

（周山営業所）、上田茂（伏見営業所）、足立昇（亀岡営業所）、服部真吾（宇治営業所）ら4人が、第二次提訴をした。総勢9人の京都原告団となった。第一次訴訟の第一回期日の89年4月18日には、堀江さんが原告として意見陳述をした。

第二次訴訟の第一回期日の96年12月18日には、服部が原告として意見陳述をした。昇給差別では、ほかの人が2000円のところ自分たちは1500円にしかならなかったことなどを訴えた。伏見営業所の堀江さんは、意見陳述でこう訴えた。

―自らが勤務する会社を相手に裁判

をするなどということは大変なことであります。原告や家族が悩み抜いた末、やむに已まれず提訴に踏み切ったこと（以下中略）。

―原告の三木谷英男さんの場合、勤続三〇年で同期の標準的な人に比べ年間一六〇万円、三年さかのぼるだけで実に四五〇万円もの格差が生じています。

―また、私の場合、同期の者がほとんど役職者になっている中で、平社員のみであり、資格は低く押さえつけられ、仕事の差別や教育さえも受講させてもらえないという状態が続いています。（一部略）まさに会社を辞めろと言わなければならない仕打ちです。



京阪神争議団で1978年当時、関西電力の人権侵害を告発する会の立て看板

裁判長！思想を売り渡さなければ、
まともな人間として扱ってもらえない
のが実態であります。こんなことが許
されるでしょうか。

第二点は、永年にわたり私たちを「み
せしめ差別」してきた結果、職場にも
たらされた実態であります。
―まず人間関係がゆがめられていま
す。かつて私は、
職場の同僚が挨拶
もしてくれな
いということ
を体験しまし
た。
今日でも私に
対する孤立化
政策は続き、
例えば今年
の囲碁支部
大会に参加
させてもら
えませんでした。
服部さんも、
まさに人間
の尊厳を賭
けた訴え



争議解決後、周山でも芋掘り（2001.10.8）



す。かつて私は、
職場の同僚が挨拶
もしてくれな
いということ
を体験しまし
た。
今日でも私に
対する孤立化
政策は続き、
例えば今年
の囲碁支部
大会に参加
させてもら
えませんでした。
服部さんも、
まさに人間
の尊厳を賭
けた訴え

だったと思った。

「関電賃金差別訴訟からキ
ンカン行動へ、仕事を愛
してきたが故に、「労働の
尊厳」を後輩に訴える

1995年、関電人権裁判の最高裁
判決で、社内で4人の原告を共産党員
または支持者として監視・排除してき
た行為は「職場における自由な人間関
係を形成する権利を侵害した不法行為
にあたる」と認定した。

しかし、最高裁の判決が下っても、
それに従おうとしなかった関電に対し
て労働者の怒りが広がった。同時並行
して闘われていた東電・中電では企業
側が非を認め争議は全面的に解決して
いった。

結局、1999年12月の大阪地裁の
関電賃金差別裁判では、社員40人を含
む101人に対して、関電は12億円の
和解解決金を支払うこととなった。

そもそも、敗戦後のアメリカ占領下
で1950年の朝鮮戦争を切っ掛け
に、レッド・パージが労働運動の分断
をもたらした。また、アメリカ追従の
エネルギー政策が、電力供給を水力や
石炭火力から石油火力へ転換させ、さ
らに原子力発電へ切り替えさせてき
た。

関電をはじめとする電力会社は、公
安調査庁などの治安組織から「官公庁、
重要産業内に潜在する党員（日本共産
党員）については、事情の許す限り管
理者に通知し、適切な処置の資に供す
る」として、情報提供を受けていただ
けでなく、管理職が仕事外に「尾行や
監視」などの行為を、「本来業務」化
させられてきたのだ。

なぜなら、美浜原発事故などを例に
「原発の安全神話」のまやかしを告発
する市民運動と労働争議が結合しない
ようにするためだ。

「企業の社会的責任」を度外視すれ
ば、どうなるかは、2011年3月11
日の福島原発事故が証明しているとの
思いで、この間、服部真吾さんは「キ
ンカン行動」で関電京都支店前になっ
た。

いまこそ聞け、わだつみの声を

安保法制違憲訴訟第6回口頭弁論・陳述書より

小畑 哲雄

1951年11月12日、昭和天皇の京大巡幸の折に、公開質問状を手渡そうとした「京大天皇事件」が起こった。公開質問状は、「神様だったあなたの手で我々の先輩は戦場に殺されました、もう絶対に神様になるのはやめて下さい。『わだつみの声』を叫ばせないでください」というものであった。京大当局は、同学会解散と幹部8名の停学処分をした。

当時、同学会中執の小畑哲雄さんは、11月7日の円山公園でおこなわれた「解放運動物故者慰霊祭」後のデモ隊が水谷長三郎代議士宅に投石した事件に関連していたとして、11月10日夕方には川端署に逮捕されていた。京大天皇事件の現場にも居合わせなかった者をも、学校当局は不当に停学処分としたのだ。その小畑さんの「反戦平和の思い」が、安保法制違憲訴訟の京都地裁でほとばしった。(編集部)

その時、私の歴史も動いた

私は、1927年7月24日生まれ、91歳になります。第二次世界大戦が日本の無条件降伏によって終結したのは、私が18歳になって3週間後のことでした。

当時私は、東京の郊外の小平町にあった陸軍経理学校の第10期予科生徒でした。360名の同期生の半数、三個区隊180名はすでに会津若松に疎開し、残る私たちは、8月20に出発とされていましたが、14日の夜半、私を含む30名だけが15日午後出発、という命令を受けました。

いわゆる「玉音放送」の後、軍装検査があり、出発の際には実包を支給する、と言い渡されました。2時間後に「疎開中止」の命令がでたため、そのまま残り、9月1日付で「予科生徒を免」ぜられ、翌日、東京を出発、9月4日郷里熊本に帰りました。仏壇には、私が3月、「自宅療養」で熊本に帰った戦友に託した「遺書」と爪、

髪の毛が置かれていました。将来は、現役の主計将校になる、という予定でしたが、「10期生は本土決戦の分隊長として死んでもらう」と宣告され、その訓練に午後の術科の時間を多くがさかれるようになっていたからです。

1943年の「学徒出陣」の前に、すでに生徒たちに予科練志願の強要ありき

しかし、今日は私個人の体験ではなく、私たちの世代が経験したことについて述べたいと思います。

第二次大戦のターニングポイントになったのは、1943年のはじめ、ヨーロッパではドイツ軍がスターリングラードの戦いで敗北したことであり、南太平洋では、日本軍がガタルカナル島から「転進」という名で退却をしたことでした。

前年のミッドウェイ海戦で日本海軍が大きな損害を被っていたことは、秘匿されていましたが、日本国民の大多数は、ここではじめて、この戦争の成り行きの厳しさに、気づきは

じめたのでした。

追い打ちをかけるように、春になると、アリューシャン列島のアッツ島の守備隊が「玉砕」つまり全滅した、という報道がありました。さらに、山本連合艦隊司令長官の「戦死」の報道が日本国民に大きな衝撃を与えました。そのときに、大本営海軍報道部の平出大佐がラジオを通じて、中学校の3年、4年に在籍している男子生徒に「甲種飛行予科練習生に志願するよう」呼びかけたのです。

この時代、義務教育は尋常小学校の6年間で、もうすこし勉強したいと思うものは、2年間の高等科に進みました。高等科2年を終えたものは、「乙種飛行予科練習生」に応募する資格がありました。

それより少し学力もある中学3、4年生を速成で訓練し、下士官の飛行機搭乗員にしようとしたものです。当時、私が4年生として在籍していた熊本中学には、70名の割り当てがあったと記録されていますが、前年実績は7名でした。

『熊中・熊高80年史』によると、学校当局は70人を募集するのに苦労したようです。

もともと熊本には、中学済々黌という県立一中があり、ここは陸海軍の学校への志願者の多い学校でした。それに対して熊本中学は、第五高等学校

(現在の熊本大学)への進学を目指すものが多かったのです。

一学期の期末試験の終わった7月のある日、その熊本で一つの「事件」が起こりました。

最高学年である5年生のあるクラス全員が、予科練を志願することを、級長を先頭に決議したというもので、当時の熊本日日新聞なども大きく報道しました。その日の午後、3年生、4年生は剣道場に集合を命じられました。

正座する私たちを取り囲むように、例の決議した5年3組の生徒のほかに数人の教師たち、それとなぜか海軍兵学校へすすんだ先輩が一人いました。5年3組の級長が壇上に立ち、私たちに予科練を志願するよう呼びかけました。しかし、私たちは、彼がメガネをかけており、飛行機乗りになれないことをわかっていましたから、「俺は、お前たちが乗る飛行機をつくってやる」と言われると、いつそうしだけ思いになるのです。

「今の話を聞いて予科練を志願しようと思ったものは、手を挙げろ」と言われても、500人近くいたものの中から20人ばかりしか手を挙げませんでした。

その時、一人の教師が床を踏み鳴らして怒鳴りました。「往け、往かんか」と。私は、この教師の名を一生忘

れないでしょう。後年、私も高校の教員になりましたが、「ああいう教師にだけは絶対になるまい」と思い続けてきました。いわば、「反面教師」です。結果は、割り当てを大きく超過、九州で一番多かったと聞きました。

成績の悪いもの、問題行動を起こして処分を受けたもの、そういう生徒たちがつぎつぎと呼び出され、このままでは「進級はおぼつかない、予科練に行けば、四年修了にしてやる」と言われたそうです。私自身は、けっして真面目な中学生ではありませんでしたが、成績がまずまずだったことと、右目の視力が極度に低かったため、その対象にならなかったのです。

さいわい、海軍の予科練に行った私の友人は、鹿屋の基地から「特攻」として出撃したものの、沖縄に到着する前に種子島付近に不時着したため、「戦死」と発表されながら、死なずにすんだ。あるいは、出撃予定が9月だったために全員が無事でしたが、近眼のため、海軍の予科練ではなく、陸軍の特別幹部候補生を志願することになった大塚君は、中国北京で、1845年5月3日、戦病死しました。死を知らされた大塚君のお姉さんとお母さんの苦しみ、悲しむ姿は忘れられません。

同じ年の10月、それまで徴兵を猶予されていた大学・高等学校・専門学

校の学生・生徒のうち、文科系のものがその特権を剥奪され、雨の中の神宮外苑競技場を分列行進した、いわゆる「学徒出陣」については映像にもなり、よく知られています。15・16歳の少年がこういう形で「志願」させられていったこともぜひ知っていただきたいと切に願うものです。

戦争は如何にして始まるのか

安倍政権は解釈変更により限定的にせよ集団的自衛権を行使できることとし、戦争法制の成立を強行しました。過去の経験でも、戦争は「さあ始めるぞ」と言って始まるわけではありません。日中戦争でもそうですが、銃声が出て、駐屯していた日本陸軍が人員点呼したら一人足りないからということ、で攻撃を始めてしまった。しかしその後でその兵隊は10分ほどしたら帰ってきた。そんな些細なきっかけで戦争が始まったりします。

軍隊というのは、刀を抜きたがるものです。戦力はあれば使いたくなる。集団的自衛権を認め、日本の自衛隊の役割を広げたことは、刀を抜きやすくして、日本を戦争に巻き込まれやすくすることです。南スーダンに派遣された自衛隊員がいざとなれば発砲してよいということになったとき、私はハッとししました。私は陸軍の実弾射撃訓練

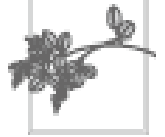
で射撃をしたこともあります。銃を発砲するというのは、きちんと構えていないと、反動で自分の肩を骨折したりもします。人を殺すだけでなく、自身も傷つく可能性もあります。そういうただなかに日本の自衛隊も突入していくのだと、胸が締め付けられる思いがしました。

自衛隊員だけでなく、その家族の不安やかなしみをおもうとたまりません。大塚君のお母さんのような人を増やすことになる今回の戦争法強行採決を許すことはできません。

ここ数年、防衛大学の卒業生の一割近くが、任官を拒否するというケースが起こっています。旧日本陸軍の将校生徒であった私にとっては、彼らはいわば「後輩」にあたります。

「災害にあつた日本の国民を守る、日本の国民の命と国土とを外部の侵略から守る」つもりであったのが、今回の安保法制の改悪をもって「約束が違ふ」と思う彼らの気持ちも、私には十分に理解できます。二度とふたたび「戦死」するものを出さないことを最後の軍隊経験者として、強く強く願うものです。(2018・9・13京都地裁にて。見出しは編集部)

会員消息



将来のための財産

荒木昭夫（左京区）
ご苦勞様です。頂いた会誌隔から隔ま
で読んでいます。将来のための財産となり
ましょう。例会に参加できずにすみませ
ん。出渕さん健筆ですね。うれしいこと
です。

「天皇制」に思う

奥田宣子（宇治市）
239号の「特集・天皇制」いろいろ勉
強させて頂き有難うございました。夫が
学徒出陣の一人でしたが、戦場に行かない
まま終戦をむかえました。

藤谷先生のこと

佐藤匡子（山形市）
藤谷俊雄先生のこと、誰か書くべきだ
と思うのですが…。

出合いにエネルギー

小畑哲雄（八幡市）
91歳となりましたが、元気に日々を送
らせて頂いております。昨年は、長年ご
厚情をいただいている諸先輩、旧友、教え
子たちにあわせて、新しい出合いを幾つか
経験し、エネルギーを頂きました。戦争の
ない平和な世の中の実現のため、軍隊を経
験した最後の世代の一人として、もう少し
頑張る所存です。

共同の力で

湯浅俊彦（大山崎町）
昨年は11月に日吉町の山道で転倒、2
週間入院となりましたが、それ以外は相
変わらずの毎日です。地元大山崎町で
は、秋の選挙で自民党町長を破り「民主
町政の会」支持の候補が当選、共産党4
人の町会議員（定数12）も誕生しました。

情報スクラップ

・『山宣』24号が刊行されました。昨年の
第89回山宣墓前祭・山本宣治を偲び語
るついでに・山本宣治生誕129年記念
講演会・宇治山宣会の総会。『山宣』
の葬列を描いた2枚の油絵「告別」と「労
農祭」の寄稿（永島民男氏）、山宣コー
ナーでは、若森佐千子さんから提供の
「山宣から本田実太郎氏への手紙発見」
などが収録されています。

・国領五一郎を顕彰する京都の会発行の
「会報40号 京都国領会」が届きました。
新井進さんの「西陣の米騒動と国領
五一郎」の論考が収録されています。な
お第56回国領五一郎墓前祭は3月15日
（金）正午から、例年通り左京区黒谷の
顕今院本堂です。

・京都社会労働問題研究所で「社会労働
問題に関する資料群とアーカイブス」の
研修がおこなわれます（2月22日午後
6時）、ラポール京都6階会議室。大
阪労働資料室エル・ライブラリー館長の
谷合佳代子さんから、大阪労働資料室
の現状と課題をふまえての報告があり
ます。連絡は075-4311-0670
ラポール京都内労働運動OBの会気付

京都社会労働問題研究所佐々木さんま
で。

「退会」

向井啓二（南丹町）市川曉（向日市）岡
和子（ひたちなか市）温井徹念（西京区）

「事務局より」

・予定していた1月例会はお話頂く方との
日程調整がつかず、申し訳ありません
が2月末・3月上旬で調整中です。決
まり次第にお葉書でのご案内となりま
す。御了承下さい。

・前号で誌代請求の間違いを指摘するご連
絡を頂きました。順次確認をさせて頂
きながらご返事を差し上げていますとこ
ろです。お手数をおかけしました。

◆健し案内

天皇代替わり問題と『建国記念の日』（紀
元節）を考える京都集会 2019年2
月11日（月）午後1時30分、京都教育文

編集後記



あけましておめでとうございます。12
年ごとに廻って来る亥年に、4月の統一
地方選挙と7月の参議院選挙が重なりま
す。安倍暴走政治を終わらせる野党共闘
と市民連合との協同構築が急がれます。
1966（S41）年、京都府知事選挙で

◆原稿募集◆

「忘れ得ぬひと」「闘いの記録」「エッ
セイ」など、会員のみなさんからの
原稿を募集しています。書き遺して
おきたいことをぜひ「燎原」に。テー
マ、字数は問いません。

「燎原」編集部

化センター302号室。集会テーマ「今
日の日米軍事同盟と自衛隊」問われる戦
後責任と日本の未来」講演「強化大
する自衛隊と戦後責任」東アジアの平和
の未来のために」講師・額田厚氏（山
口大学名誉教授・明治大学特任教授）。
共催：第52回「建国記念の日」不承認2・
11京都府民のついで・第40回「紀元節（建
国記念の日）」を考える2・11京都集会。

虎さんの5選目の選挙の時、革新統一の蝶
番の役を「府市民団体協議会」が務めた。
キーマンの中野信夫京都府保険医協合理
事長のことを思い出した。中野信夫さんの
原点のひとつは、戦争を二度とゆるさない
の思いではなかったか。燎原誌に中野さん
に関する思い出や資料など寄せてくださ
い。安倍政治を許さぬ闘いの糧になるとお
もいます。

（つとむ）

京都教職員組合

執行委員長 川口隆洋
京都市左京区聖護院川原町 4-13 京都府教育会館内
☎075-752-0011 FAX075-751-1091

京都市職員労働組合

中央執行委員長 小林竜雄
〒604-8571 京都市中京区河原町御地
電話 075-222-3883 FAX075-222-3893

公益社団法人 部落問題研究所

〒606-8691 京都市左京区高野西開町 34-11
☎075-721-6108 FAX075-701-2723

京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町 21-3
春日ビル 4 F

京都民医連中央病院

〒604-8453 京都市中京区西ノ京春日町 16-1
☎075 (822) 2777
<http://kyoto-min-iren-c-hp.jp/>

公益社団法人 信 和 会 京都民医連第二中央病院

京都市左京区田中飛鳥井町 89
☎075-701-6111
URL<http://park12.wakwak.com/~kyoto2hp/>

図書出版 文理閣

〒600-8146 京都市下京区七条河原町西南角
TEL075 (351) 7553 FAX075 (351) 7560

京都自治体労働組合総連合

執行委員長 福島 功
京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール京都 5F
〒604-8854 電話 075-801-8186 FAX075-801-3482

全国福祉保育労働組合京都地方本部

執行委員長 久保田徹
京都市上京区猪熊通丸太町下ル中之町 519
京都社会福祉会館内
☎075-813-4800 FAX075-822-6220

日本国民救援会京都府本部

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール京都 5 階
〒604-8854 電話 075-801-3915 FAX075-822-6632

山本宣治生誕 130 年・没後 90 年記念事業にご参加を

宇治山宣会

会長 藪田秀雄
〒611-0033 宇治市大久保町北の山 11-1 藪田秀雄気付
TEL/FAX0774-48-2472

市民共同法律事務所

京都市中京区烏丸通二条下ル西側ヒロセビル 2 階
TEL075 (256) 3320

京都第一法律事務所

京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町 280 番地
ヤサカ烏丸御所南ビル 4 階
TEL (075) 211-4411
FAX (075) 255-2507

国領五一郎を顕彰する京都の会

〒602-8282 京都市上京区仁和寺街道千本東入
西陣文化センター 全西陣織物労働組合内
TEL075-441-7624

’19 明けましておめでとございす



元旦

知は力、本のことならおまかせください。

民主的出版社15社との共同で、2~3日で本をお届けする「本の特送便」をご利用ください。詳しくは下記までお問い合わせください。

ブックセンター **かもがわ**

☎075 (415) 7902
FAX (415) 7900

今年も話題の本をお届けします

株式会社 **かもがわ出版**

☎075 (432) 2868
FAX (432) 2869

心に伝わる本づくり、自費出版の相談は

株式会社 **ウインかもがわ**

☎075 (432) 3455
FAX (432) 2869